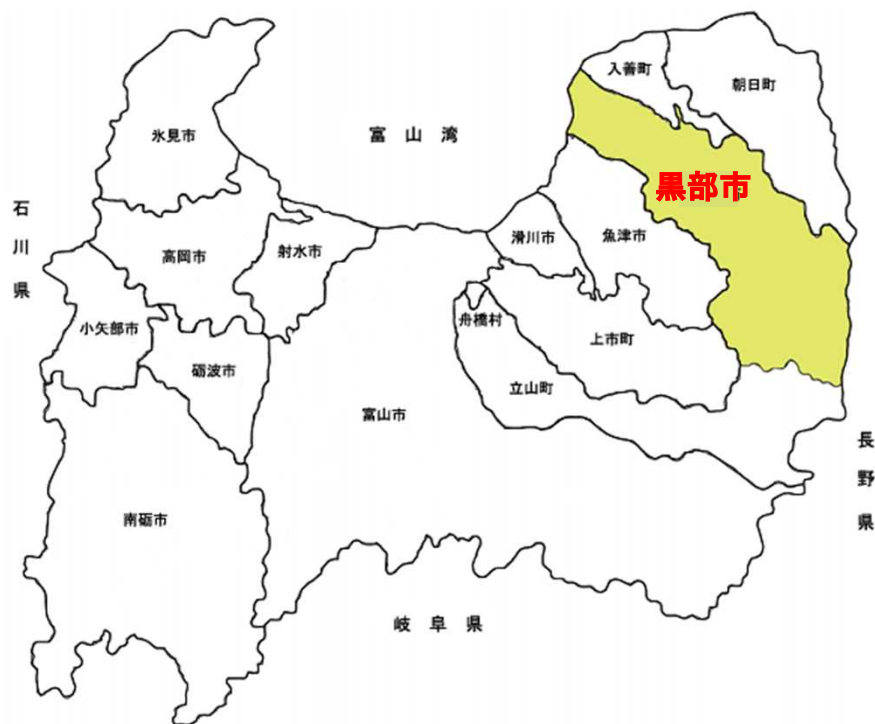


# 地元民間企業との連携によるまちづくり



黒部市長 大野 久芳

### 黒部市の位置と地勢



〈市章〉



黒部市の頭文字「K」をイメージして図案化し、山、清流、緑の大地に育まれて息づく黒部の自然と共生する人々の、伸びやかなふれあいの郷を表現しています。

#### 富山県黒部市

平成18年3月31日に黒部市と宇奈月町が合併し誕生

面積 427.93km<sup>2</sup>

人口 41,216人(R元.10末)

富山県北東部に位置

富山県の約10%を占める広さ

北アルプスから富山湾まで約3,000mの標高差

立山連峰から黒部峡谷、黒部川扇状地、富山湾沿岸部 など、変化に富んだ地形

## 雄大な自然を守り活かした観光地など



黒部峡谷鉄道



富山地鉄宇奈月温泉駅

- ◆ 豊富な自然を活かした観光
- ◆ 黒部峡谷とトロッコ列車
- ◆ 宇奈月温泉 しょうず
- ◆ 海産物、名水、清水、産業観光



魚の駅生地



黒部川扇状地湧水群(生地清水)



パノラマ展望ツアー



黒部名水マラソン

# 北陸新幹線開業効果 YKKの本社機能一部移転

- ・市内主要企業であるYKKが、本社機能を一部移転
- ・人事異動により、総勢230人が黒部市に転居(家族を含めて1,000人規模)
- ・移転に合わせ、企業内保育や住宅地の整備、单身寮の整備等を計画、 推進中。



### 技術の総本山のシンボル 「YKK AP R&Dセンター」

YKKAPの技術の集積地として、技術者や研究者370人が勤務し、専門分野の研究・知識を深耕し、高品質なモノづくりを实践する施設。

### パッシブタウン黒部モデル

複合型賃貸集合住宅として、旧YKK社宅跡地を再整備中。H29.9に第3期まで完成。また、敷地内に企業内保育所やカフェ等の商業施設も併設している。

### K-TOWN

あいの風とやま鉄道黒部駅前、老朽化した社員寮を移転整備した。駅周辺への定住を促進し、地域の活性化や賑わいづくりを目指す。

# 黒部市の都市構造



# 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり

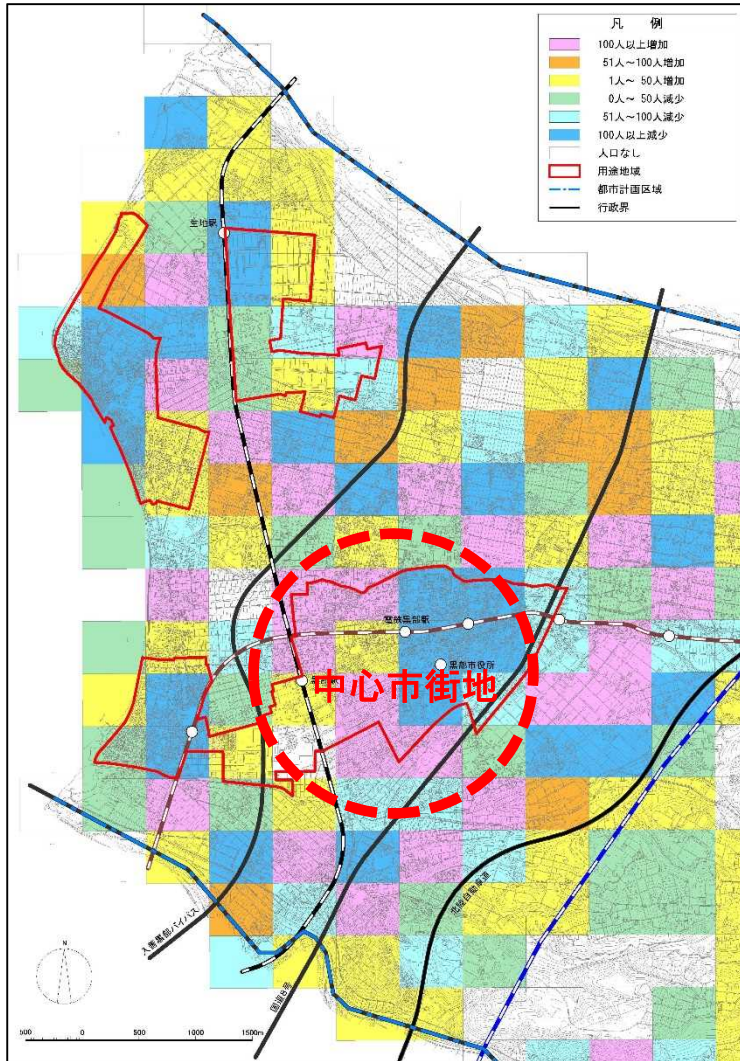


図.メッシュ人口の推移(用途地域周辺拡大)

民間企業の資本投資や北陸新幹線開業による開発の進展

地価の安い郊外部での開発が進行する一方  
まちなかの人口減少、空き家増加が進行

民間活力や公共投資の効果が拡散し、市の発展のエンジンとなる中心市街地への投資効果が発揮されず、まちなかの空洞化、都市機能の低下が著しく進行

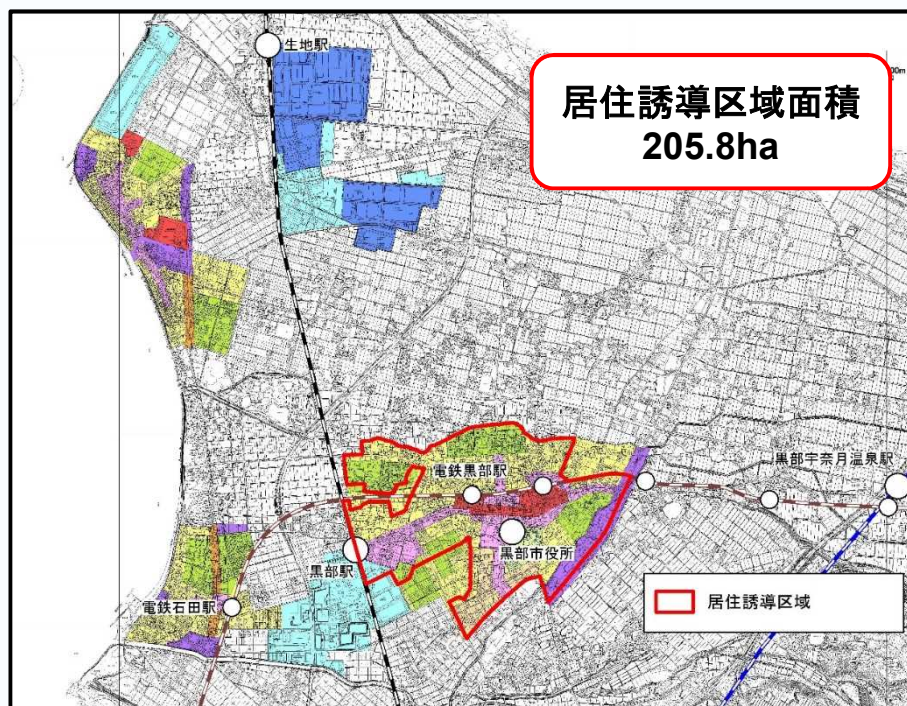
**まちづくりの方向性(ストーリー)**

- ◆ 充実した公共交通網を活かすため、中心市街地への都市機能の集約化に加え、まちの魅力の創出を図ることで、まちなかに訪れる市民と公共交通利用者を増加させる。
- ◆ 民間企業の先進的な居住環境整備などの資本投資を中心市街地に誘導することで、活力の向上と若年層を中心とした新たな定住人口を増加させる。
- ◆ 多機能な交流施設を整備し、シニア世代との交流により次代を担う青少年や子育て世代等の**若年層**に対する支援と人材育成を図り、成長を促す。

**まちづくりの方針**  
『コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり』

## 中心市街地に居住を誘導

三日市地区を中心とした中心市街地に居住誘導区域を設定



### 居住誘導区域設定の考え方

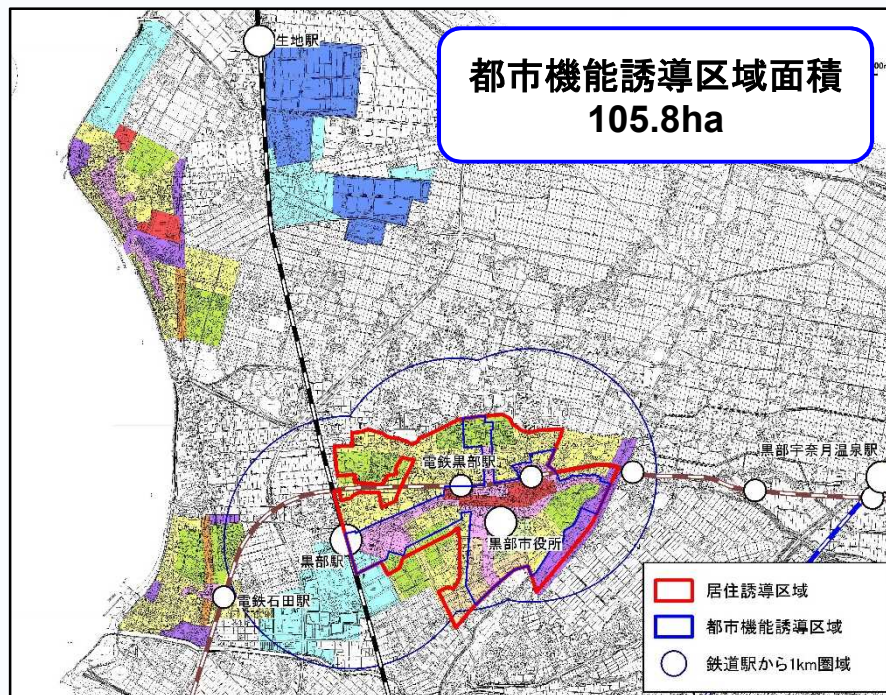
商業、医療、福祉、教育、行政等が立地し、日常サービス機能が充実

鉄道、路線バス等の公共交通ネットワークが充実

土地区画整理事業や民間企業の先進的な居住環境整備など資本投資を実施

# まちなかに都市機能を誘導

商業系用途地域及び都市基盤整備箇所<sup>①</sup>に都市機能誘導区域を設定



## [誘導施設]

- 医療機能【総合病院】
- 文化機能【図書館】
- 交流機能【文化ホール、市民会館、  
コミュニティーセンター】
- 子育て支援機能【子育て支援センター】
- 教育機能【高等学校、若年層向け人材  
育成施設】
- 商業機能【店舗(空き店舗を活用した  
規模の小さい商業施設)】
- 金融機能【銀行、信用金庫、郵便局】



### 誘導施策

#### ① まちなかの居住環境の整備

- 民間活力導入による次世代型居住環境の整備
- 土地区画整理事業による良好な居住基盤整備
- 住宅取得支援制度の拡充、住宅金融支援機構との協定

#### ② 公共交通の利便性の向上

- 官民共同運行による持続可能で利便性の高い公共交通網の形成  
(南北循環線)

#### ③ 都市機能の集約等による、まちなかのにぎわい創出

- 複数の都市機能を集約した交流センターの整備
- 空き店舗に対する新規出店支援制度の取組み強化
- 公共空地(集約後の各施設跡地)の有効活用

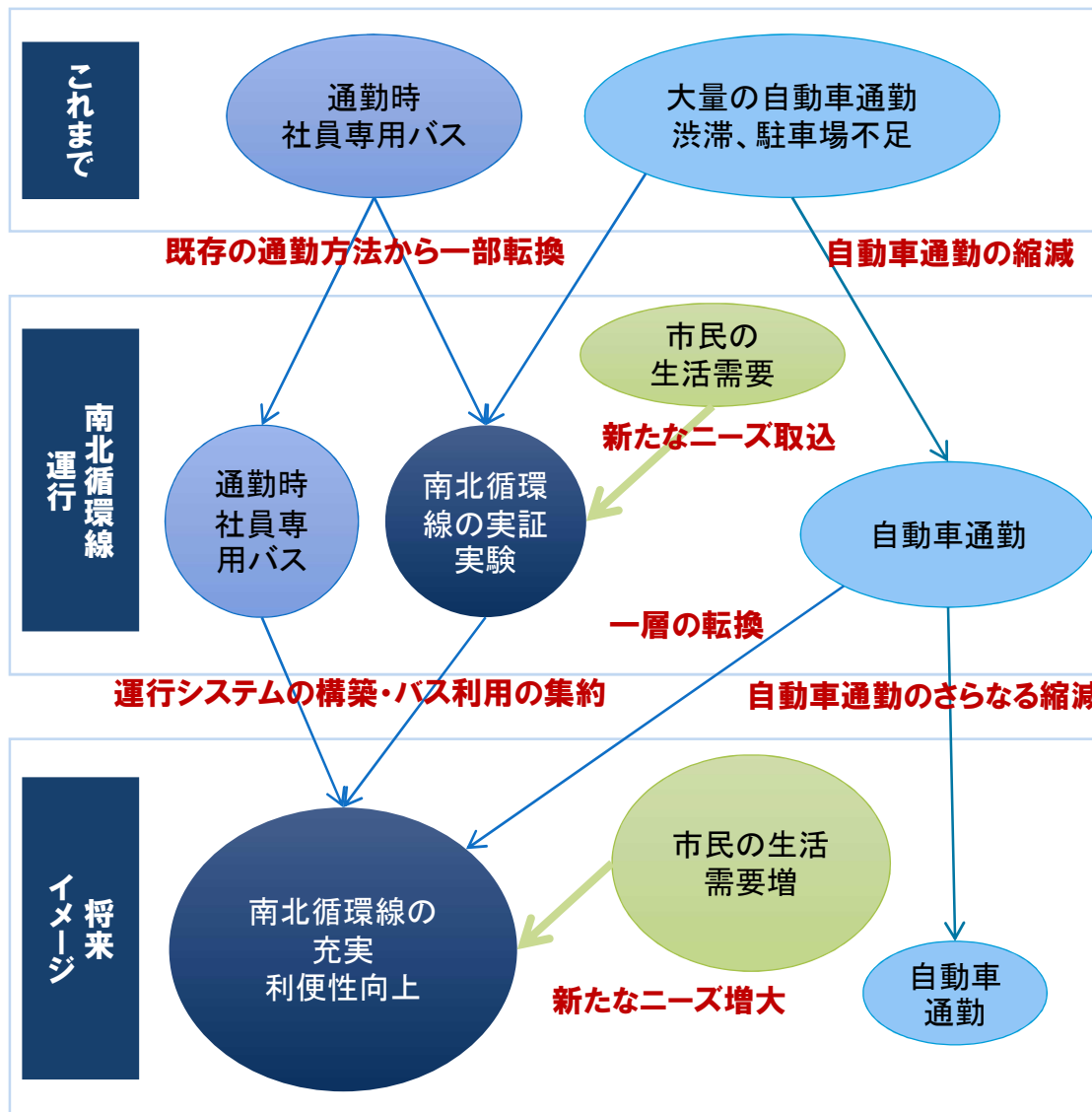
# 官民連携の取組み(南北循環線)

## 南北循環線の運行目的

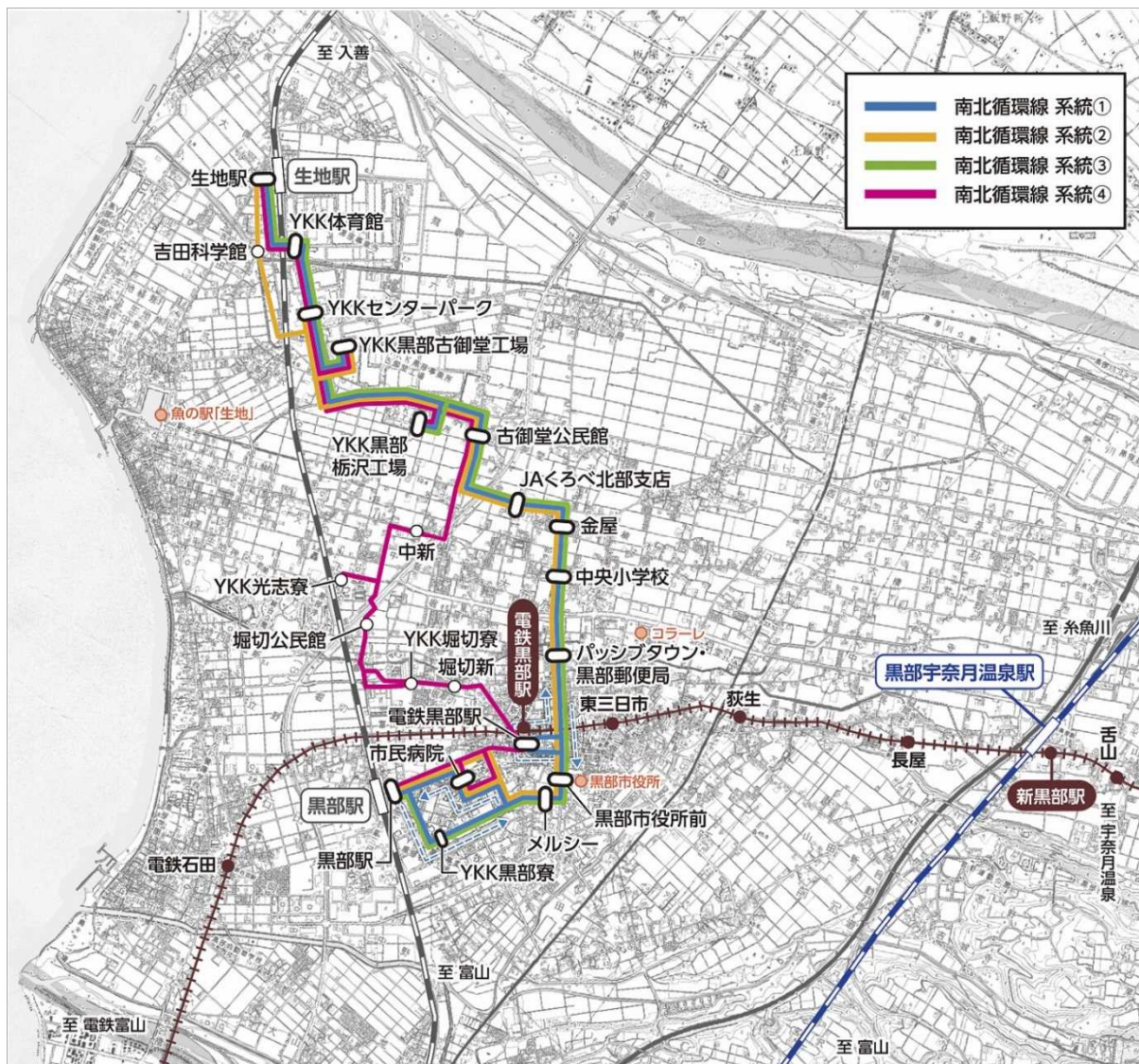
- ・渋滞緩和と社員の公共交通利用促進、路線バスの事業運営の安定化への寄与。
- ・YKKの関連事業所や社員寮等を循環し、かつ、市民の買い物等の移動ニーズを一定程度満たすような路線とすることによる地域貢献。

## 南北循環線の今後の検討課題

- ・出退勤時の大需要からの収益をベースに、日中帯も含め、持続可能な路線を目指す。
- ・地方小都市では、バス事業者の輸送能力(車両数、運転手数)に限界があることから、積み残しが発生しないような車両調整や社員通勤制度の改定等が必要。
- ・当面は、社員700名程度の通勤手段をバスに転換することを目標としているが、将来段階的に利用者を引き上げる予定。



# 南北循環線ルート図



系統①	市内企業等への出勤に対応した系統
系統②	日中の買い物や通院などに対応した系統
系統③	市内企業等の退勤の利便性を考慮した系統
系統④	

運賃	200円
運行便数	41便 (平日運行)
利用者数	410人/日 (平成30年度)

# 無料公共自転車「ちょいのり黒部」

◆ ちょいのり黒部とは？

市内各所に設置された「ちょいのりステーション」の自転車を、事前登録いただいた方が無料で利用できるサービス。（黒部型シェアサイクルサービス）

◆ステーション設置場所(6か所)

- ①あいの風とやま鉄道黒部駅 ②黒部市民病院
- ③黒部市役所 ④パッシブタウン・黒部郵便局
- ⑤中央小学校 ⑥大阪屋ショップ黒部店

◆利用料金

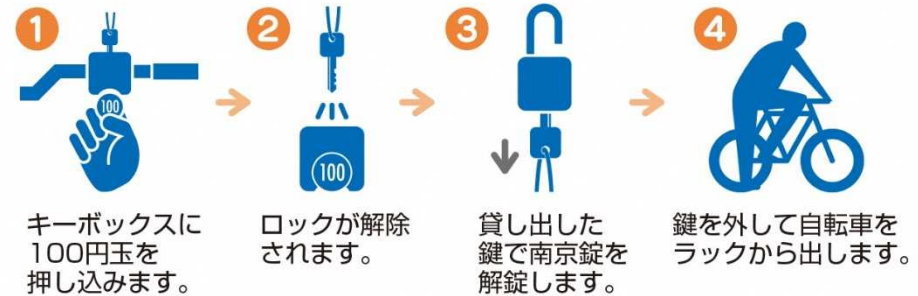
無料(※仕様時に100円玉が必要)

◆利用時間

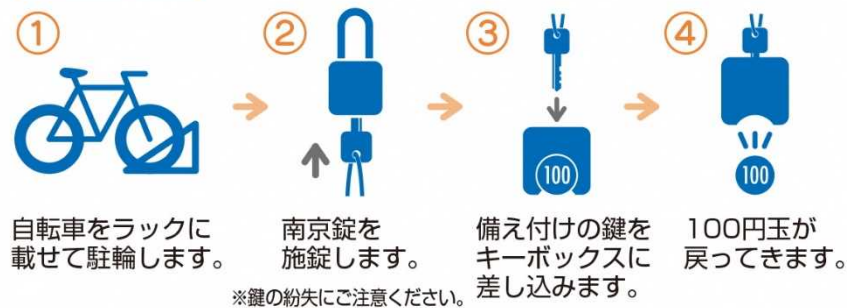
7:00~21:00



**借りる** \*利用状況によっては、「ちょいのりステーション」のすべての自転車が貸し出されていることもあります。



**返す** いずれかの「ちょいのりステーション」に返却してください。



# 高齢者運転免許自主返納支援事業

【支援対象となる方、支援メニュー】

有効期間内に運転  
免許の全部を自主  
返納された方

+

免許返納時の年齢が  
満65歳以上の方

+

黒部市民の方

市内バスのフリーパス  
有効期間：無期限（R元～）

希望者全員に交付

対象路線（7路線）

- 新幹線市街地線      ○新幹線生地線
- 生地循環線          ○石田三日市線
- 池尻線                ○南北循環線
- 愛本コミュニティタクシー（※）

※（愛本本線、愛本サポート便  
愛本フィーダー線  
栃屋大橋循環線  
栗虫連絡線）

+

フリーパスに加えて、次の①～⑤のいずれかを選択（1回限り）

- ①市内タクシー業者のタクシー利用権（2万円分、2年間有効）
- ②富山地鉄ICカード「えこまいか」（2万円相当）
- ③富山地鉄「ゴールドパス」の購入費助成（上限2万円）
- ④電動補助機付自転車の購入費助成（上限2万円）
- ⑤デマンドタクシー回数券の購入費助成（上限2万円）

【フリーパスの支援件数】

H29年度	115件
H30年度	89件
R元年度	133件（10月末時点）
累計	337件

無期限化の効果もあり申請件数は  
10月末時点で**対前年同期 2.66倍!**

# (仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想

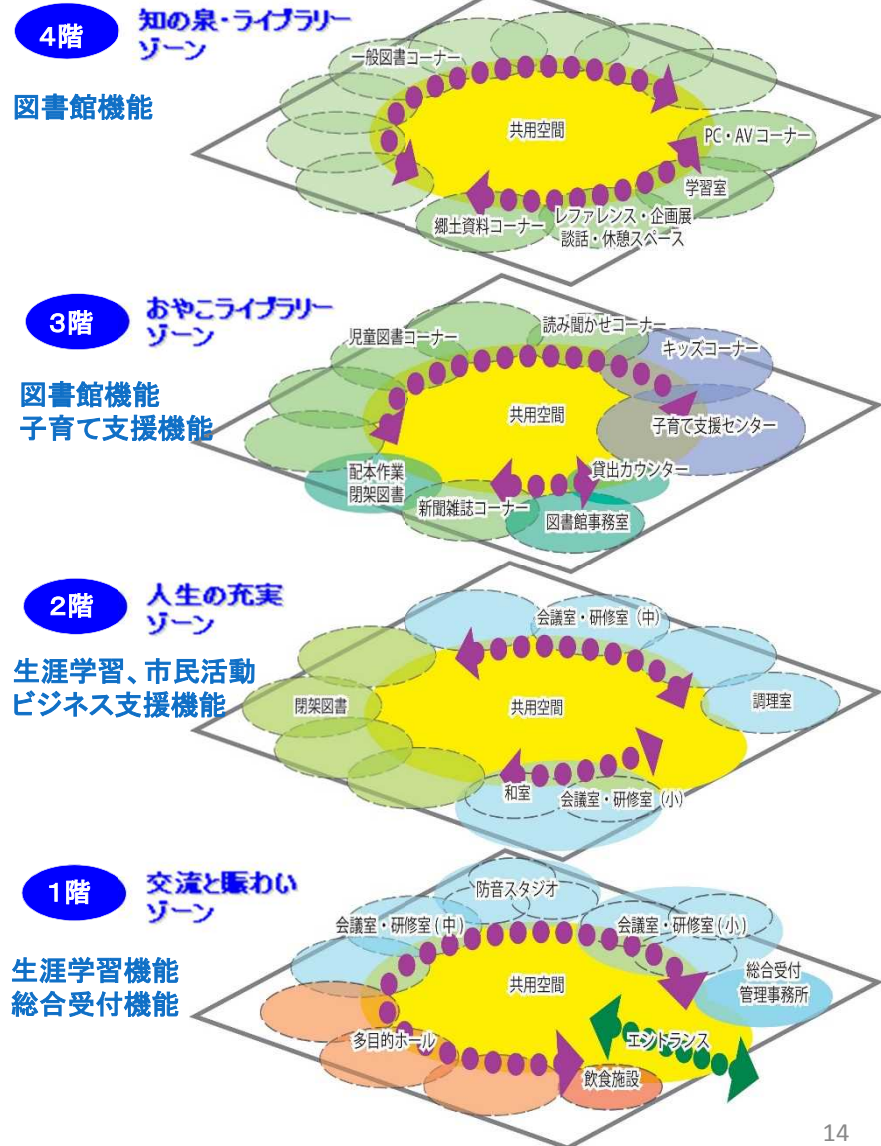
## 基本コンセプト

### 『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』

○図書館を核に、子育て支援や未来の黒部市を担う子どもたちの育成、まちの賑わいや活性化を推進するための交流促進や活動団体などへの支援、さらには生涯学習や情報の収集・発信・保存など市民の知的好奇心を満たす多機能を有する市民のための交流拠点づくりを基本コンセプトとします。

## 基本方針

- ① 地域の交流・情報センターとして機能性あふれる図書館を核に、市民の文化活動、生涯学習の充実につながる施設
- ② 図書館と子育て支援が融合する施設
- ③ 市民の交流やまちの賑わいを創出し、市民の活動を支える施設



おわりに

地元民間企業との連携によるまちづくり



宇奈月モーツァルト音楽祭



くろべ牧場まきばの風



宇奈月温泉雪のカーニバル